

2015.3.1

No.16

興道東部保育園

米沢市下花沢3丁目10番9号

TEL 0238-23-6624

# みんなの もうひとつの おうち



希望いっぱい もうすぐ一年生



「ランドセル何色?」「学校に行ったら、たし算とか、お勉強するんだよ」小学校への期待を膨らませて友だちとの会話が弾みます。

自分の意見を自信をもって相手に伝えると、それを聞いて、みんなで話し合い、自分たちであそびのルールやすすめ方を決めています。一つひとつの行事や日頃の経験を通して友だちとかかわりながら、困っている子の気もちにも気付いてあげられる頼もしい皆さんになりました。東部保育園での思い出を胸いっぱい抱き、元気に羽ばたいてください。

年長組担任

鈴木理恵

# みんなが家族のように

東部保育園は、子どもたちも保護者の皆さんも、そして職員も皆さんに愛されて、みんなのもうひとつのおうちになりました。

## 1歳児

### 「ぼく、一人でできるんだよ！」 ～一人ひとりがつくる園生活～

春先は「できない!」「して」が多かったうめ組の子どもたちも、今では「自分で!」と身の回りのことを自分でしようとしています。今では、食事の手洗いや食事後の食器の片付け、口拭き、排泄後にスポンを一人ではくこともできます。保育者に見守られながら挑戦する子どもたちの表情からは、「大きくなりたい!」そんな気持ちが聞こえてきます。



## 0歳児

### 「季節を感じて!」

赤ちゃん組の保育室には広いテラスがあります。気持ち良さそうに外気浴を楽しみながら、つかまり立ちやつたい歩き、はいはいなどをします。

テラスからすぐに園庭に出られるので、木の枝に止まった小鳥を見つけて、鳴き声を聞いたり、さわやかな風を感じてあそびます。大きい組のお兄さんやお姉さんが園庭であそんでいると、草花や虫を捕まえては見せに来てくれます。夏にはタライに水を張り、手で水面をパシャパシャと触って水あそびも楽しめます。



## 2歳児

### 「おそとあそび、だーいすき!」

天気のいい日は、「おそといきたい!」と外であそぶの楽しみに登園する2歳児の子どもたち。園庭には、季節の変化を感じることができる木がたくさんあります。春は、桜の木の下でお花見をしました。秋は、もみじの木があかく色づき、とても綺麗です。風が吹いて葉っぱが落ちてくると、子どもたちは「わー」と全身で喜びます。地面が一面落ち葉で色づく、その上に寝転がり、「きもちいいね」と嬉しそうに、落ち葉を触って喜ぶ草に笑顔がきらきらはじめていた子どもたちでした。



### 娘の姿に成長を感じています

年中組保護者 伊藤由紀さん  
美空さん

私の娘の大好きなあそび相手はメルちゃん(人形)と私(母親)です。

保育園では、年長組さんの真似をしたり、分からないことを教えて貰ったりすることが嬉しいようです。一日のようすを教える娘の顔を見てると楽しさが伝わり、私も元気を貰います。この間は、友だちと一緒に、小さい子にあそび方を教えたという話を聞き、娘の姿に成長を感じました。また、「〇〇さん(職員)に教えてもらったよ」「〇〇さん(職員)に誉めてもらった」などのことばを聞いた時に、担任だけではなく、職員のみならずにかかわってもらっていることを感じています。これからも、たくさんのごことを東部保育園で経験し、身につけて欲しいと思います。



## 年中組

### 「憧れのゆりくみさん」

発表会でゆり組(年長組)がハンドベルを演奏する姿を見て、憧れをもち、「これやってみたい」とハンドベルをはじめました。今では「きらきら星」を演奏できるようになりました。

身近でゆり組の姿を見てきた子どもたちは、全ての面で憧れの存在です。給食や昼寝などの生活の準備もすみれ組(年中組)に受け継がれています。自分たちがゆり組になることを楽しみに代々年長組が行う役割を張り切っています。



## 年少組

### 「年上の友だちとの かかわりのなかで!」

年少児の子どもたちは、年長児と一緒にあそんだり、生活をするなかで教えてもらうことがたくさんあります。

干し柿づくりの活動では、ひものかけ方を教えてもらい、優しくかかわって貰った経験は、子どもたちを大きく成長させてくれました。同年齢では学ぶことができないことを、年上の友だちとのかかわりのなかで学びます。

年上の子に憧れ、優しくかかわって貰ったことで、年下の子の気持ちがわかり、思いやりが生まれます。それは毎年、繰り返されて東部保育園の伝統になっています。



# 指先を使って、かしこい子どもにな～れ

乳児組に、すくすくルームがあります。ここは、身近な生活用品を使って子どもたちが一人でじっくりと手先を使ってあそぶお部屋です。自分の興味のあるあそびを選び、トレーに載せて運び、あそび終わったら元の棚に戻します。“友だちがあそんでいる時は、他の子が手を出したり、邪魔したりしない”という約束があることで、一人ひとりじっくりとあそぶことができます。保育者の見守りのなかで安心してあそびにチャレンジ。もう一回やりたい気持ちは、学習能力の現れ、賢い子どもにな～れ！



1歳5ヶ月



2歳

## 「親子かもしかクラブで交通安全」

幼児の子どもたちは、年7回かもしかクラブの指導員の方に来て頂き、交通安全の勉強を行っています。

今年度は11月上旬、親子かもしかクラブを開催しました。前半は保護者の方が、最近の交通事故の現状やシートベルト、チャイルドシート着用についての講演を聞き、後半は親子のふれあいあそびや安全クイズを楽しみました。車の出入りの多い駐車場は必ず、“親子でかもしか繋ぎ”で手を繋ぐことを約束するなど、交通安全の意識を高めました。



編集後記

平成26年度の保育も残り少なくなりました。今年度も保護者の皆様には園運営にご協力頂きました。また、ご近所の皆様にも温かく見守って下さり感謝申し上げます。今回の情報誌も子どもたちの笑顔が満載ですのでご覧いただきたいと思います。最後になりましたが、情報誌発行にあたり、原稿、写真などご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。